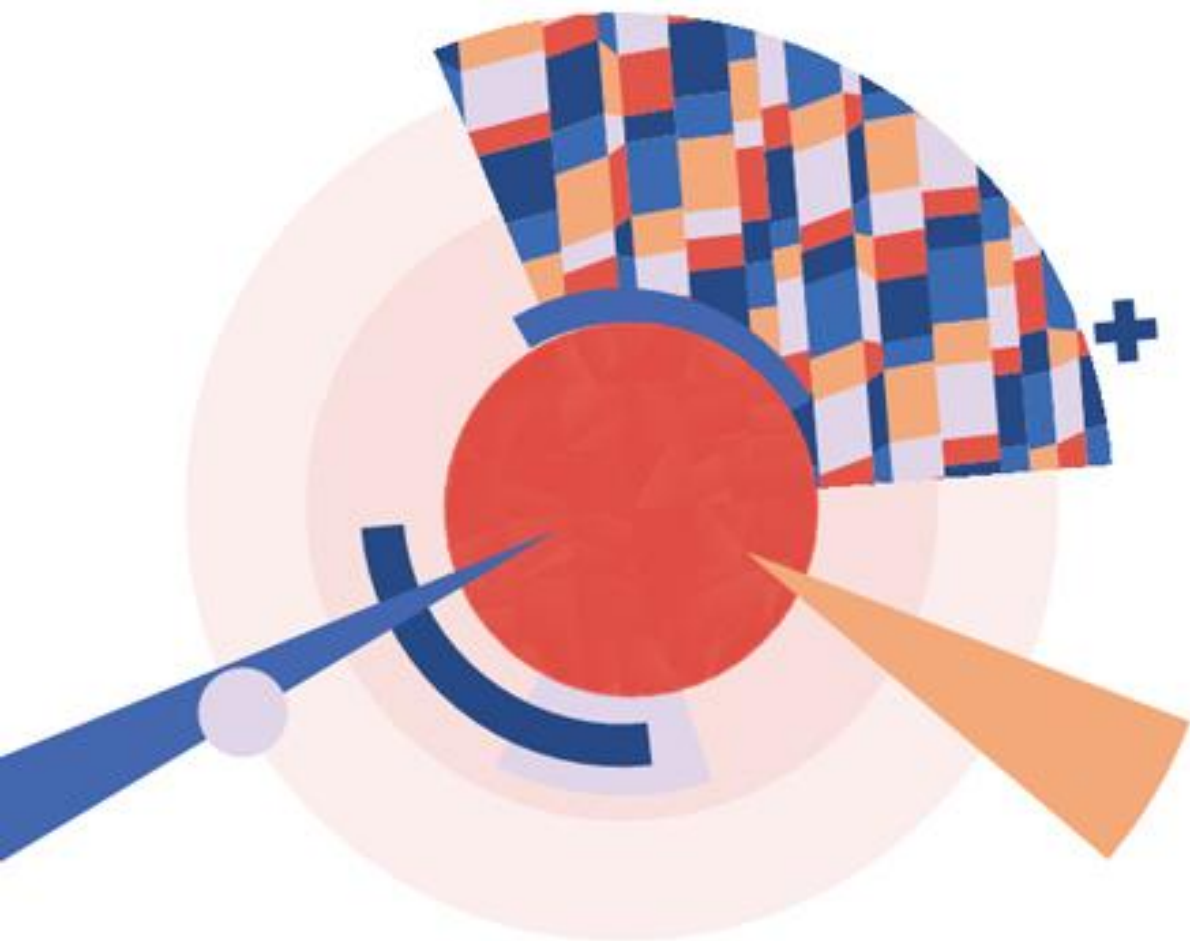




iGRID
SOLUTIONS

会社紹介資料

2024.07 update

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

01. 会社のご紹介 P03-16

- COMPANY PROFILE -会社概要-
- MISSION
- VISION
- 事業モデル：GXプラットフォーム
- 実績
 - オンサイトPPA
 - オンサイトPPA発電容量の推移
 - PPAファイナンス
- TECHNOLOGY
- アイ・グリッド・ラボ
- 事業構想「GX City®」
- 「GX City®」実現ステップ
- 受賞歴など
- SUSTAINABILITY
- 沿革

02. 事業のご紹介 P18-23

- BUSINESS アイ・グリッドの事業
- 余剰電力循環スキーム
- GXソリューション
 - クライアントソリューション
 - 提案コンセプト GX Store®
 - アライアンスソリューション実績
- (参考)PPAとは

01. 会社のご紹介



社名 株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ

(英文) i GRID SOLUTIONS Inc.

代表取締役社長 秋田 智一

本社所在地 東京都千代田区麹町三丁目7番地4

資本金 6,530百万円 ※資本剰余金含む

事業概要

- ▶ 分散型エネルギー資源等を統合活用可能なプラットフォームの開発・運営
- ▶ オンサイトソーラー発電所の開発・運営及びそれらの支援・コンサルティングサービス
- ▶ 蓄電池やEV関連サービスを含む、GX(グリーン・トランスフォーメーション)促進に係る各種サービス提供
- ▶ 再生可能エネルギー資源の効率的な使用/循環を目的としたエナジートレーディングサービス

従業員数 120名

設立 2004年2月

事業所 中部支社、関西支社、九州支社

主要株主

伊藤忠商事株式会社
関西電力株式会社
東急不動産株式会社
金融機関(大手リース会社等)
THE FUND投資事業有限責任組合

取締役



代表取締役社長
秋田 智一



代表取締役会長
本多 聡介



取締役執行役員
加田木 太朗



取締役執行役員
川野 裕介

所属機関

経済産業省 小売電気事業者 登録番号A0060

日本卸電力取引所(JEPX)取引会員

日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP※) 正会員

気候変動イニシアティブ(JCI) 参加

GXリーグ 加盟

※日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP)とは「脱炭素社会」への移行をビジネス視点でとらえ、個別企業の枠を超えた活動活動する目的で2009年に設立された日本独自の企業グループ。

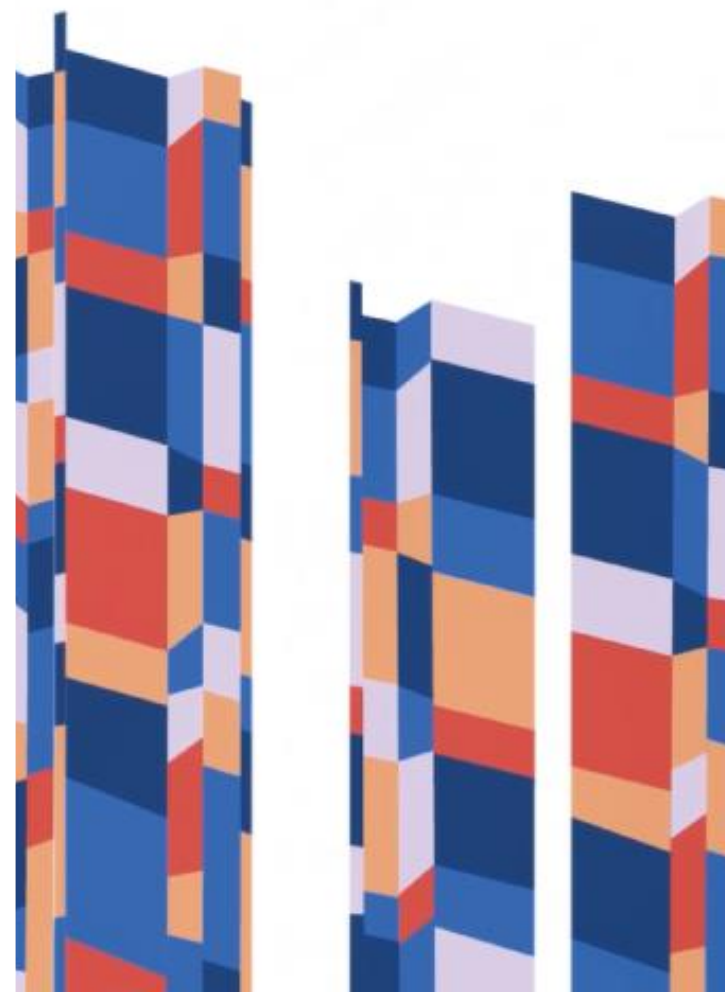


NEW Energy Partner

明日のエネルギーをあなたとつくる

これまでのインフラとしてのエネルギーから、お客さま一人ひとりの課題を解決し願いを叶える「サービスとしてのエネルギー」へと、私たちはエネルギー業界の提供価値を変革していきたいと考えています。目指すのは、暮らしをより豊かに快適にすることと、豊かな地球環境が続いていくことを等しくできる事業の実現です。

「ニュー・エナジー」とは人や企業、社会、そして地球を「生き生きとさせる活力」である、私たちはそう考えています。アイ・グリッド・ソリューションズはお客さまのパートナーとして、共に明日のエネルギーをつくりだしていきます。



R.E.A.L. New Energy

グリーンエネルギーがめぐる世界の実現

私たちは「R.E.A.L. New Energy」を届けます。真の再生可能エネルギーを経済的な価格で供給する。分散集約と地域循環で、環境と暮らしを守る。それは新しいエネルギーのあり方です。

いつでも、どこでも、誰にでも、クリーンな電力がめぐる社会を。地域をめぐるエネルギーがライフサービスへと進化する未来を実現していきます。

Renewable

限りある森林を壊さないような太陽光発電の拡大を推進し、デジタルテクノロジーの活用で、グリーン電力を余すことなくめぐらせ、再生可能エネルギーが普及するサステナブルな社会を実現していきます。

Aggregate

集約した Non-FIT の再生可能エネルギー電力を供給。再エネ由来でありながらリーズナブルな価格で、電力をご家庭や施設にお届けします。

Economical

林地開発の必要がなく、かつ電力系統の混雑を緩和するオンサイト PPA の導入を拡大。自家消費しきれない余剰電力を需給調整プラットフォームで集約し、再生可能エネルギーを最大限活用します。

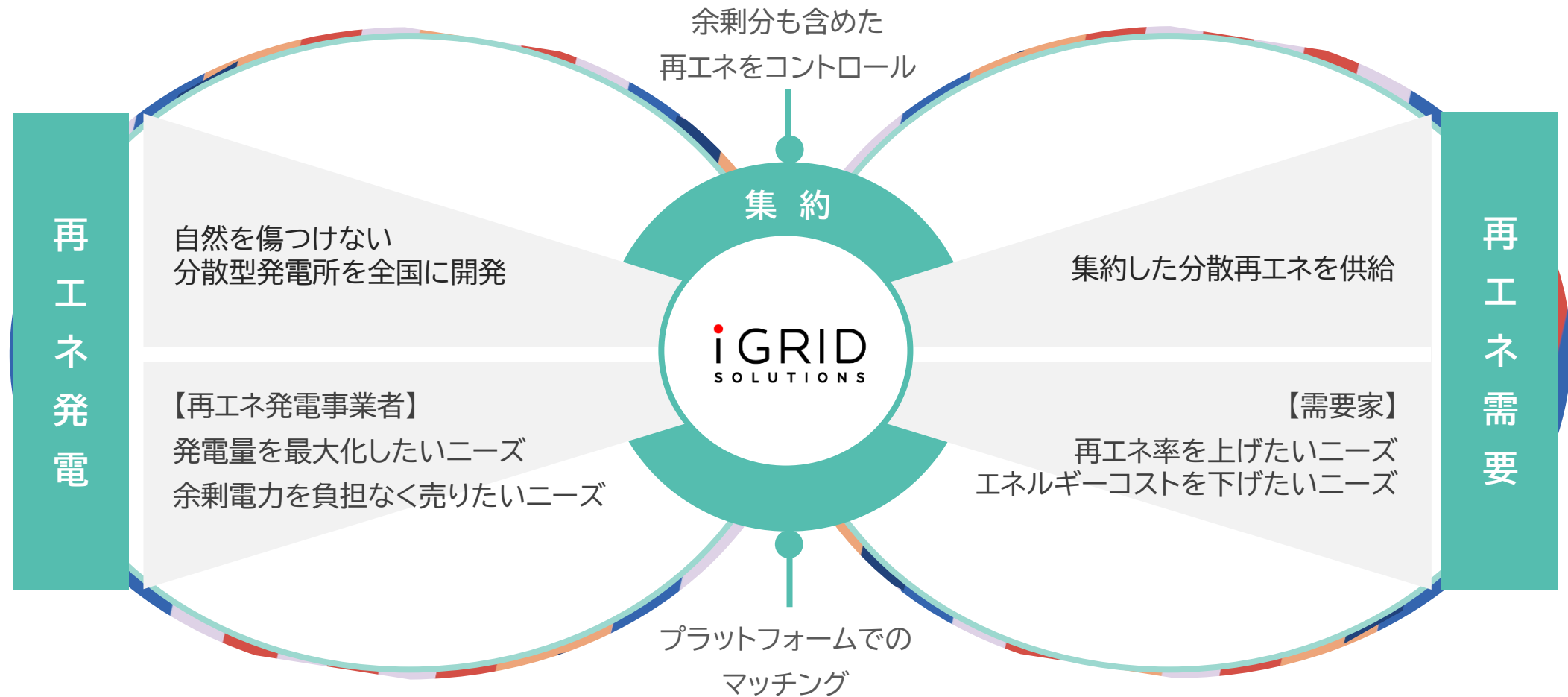
Local

施設で消費しきれない電力を蓄電池や EV に充電し、夜間や災害停電時でも使える電源として活用することができます。さらに再生可能エネルギーの地域循環利用で、地域のレジリエンス強化に貢献します。



事業モデル：GXプラットフォーム

各地の分散再エネを集約し、安定的に循環させる、「つくる」と「つかう」、「売りたい」と「買いたい」をつなぎ、GXプラットフォームとして日本中に再エネを増やしていくことが、アイ・グリッドの事業の根幹です



全国46都府県で分散型発電所を保有／オンサイトPPA国内実績No.1(※)

稼働済み
発電所

2024年6月末
時点

国内実績 3年連続 **NO.1**

950 施設 / **220** MW

240 社

Solar Power

PPA
契約先

2024年6月末
時点

※富士経済 再生可能エネルギー発電システム・サービス市場／参入企業実態調査2024 第三者所有モデル(PPA、リース)・非住宅(10kW以上)・2023年度見込。VPP Japanはアイ・グリッド・ソリューションズに吸収合併(2024年6月29日付)

下記2調査でもシェアNo1を獲得・富士経済 再生可能エネルギー発電システム・サービス市場／参入企業実態調査2022 第三者所有モデル(PPA、リース)部門、非住宅(10kW以上)・2021年度実績・富士経済 2023年度 太陽電池関連技術・市場の現状と将来展望 第三者所有モデル(PPA、リース)部門、非住宅(10kW以上)・2022年度実績

※実績数値にはPPAアライアンスの実績も含まれます

サービスを導入いただいたお客様















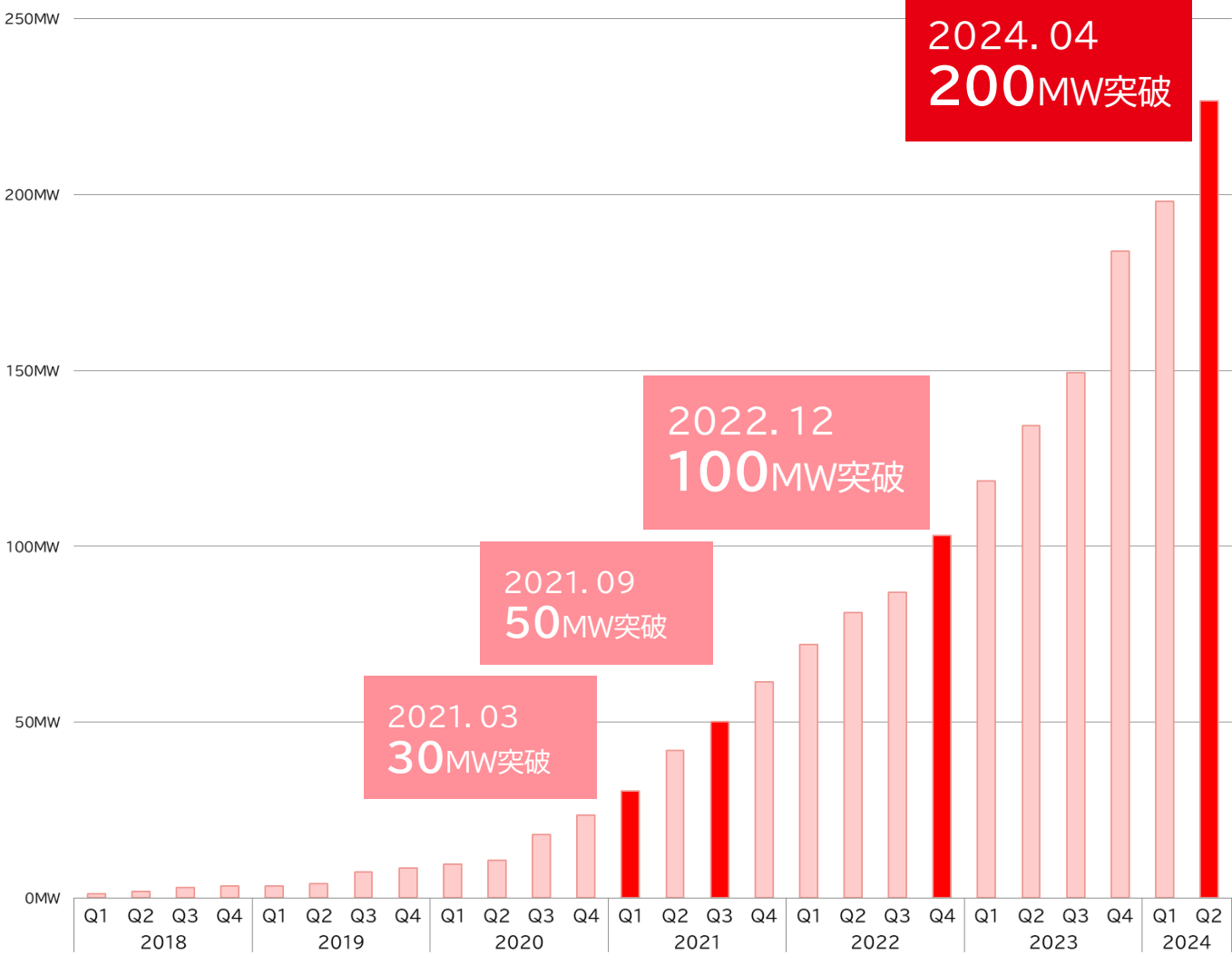




許可を頂戴した一部のお客様の
ロゴを掲載させていただいており
ます(順不同)

オンサイトPPA 発電容量（累計）

<稼働施設の累計発電所容量推移>



46 都府県に分散型発電所を保有

1 営業日ごとに 1.5 発電所を稼働するペースで拡大

稼働施設の発電容量 **200MW**
設置面積（概算） **2,001,160 m²**
東京ドーム換算 約 **43** 個分 ※ 2024 年 4 月時点

CO₂削減効果 **94,765t-co₂/kWh**
→ 約 **3.7** 万世帯分の年間電力使用から排出される CO₂ 量に相当。

（令和4年度 CO₂排出実態統計調査より算出）

再エネ普及に必要な資金調達を全国の金融機関から実現

資金調達
累計金額

約 260 億円
(※)

2024年6月末
時点

各地域で地産地消型太陽光発電
による脱炭素を推進

(※) 記載の額は、PPA向けのDebt性資金であり、資本性資金調達は含みません



TECHNOLOGY - R.E.A.L. New Energy Platform® とは

R.E.A.L. New Energy Platform®は、先進技術を融合したアイ・グリッド独自のプラットフォームです。

全国に散らばるオンサイトソーラー、蓄電池、EV充電設備、エネマネシステム、需要家をAI基幹システムとつなげ、分散型のエネルギーネットワークを構築。再生可能エネルギーが循環する基盤となっています

AI予測

Cloud

IoT制御

本プラットフォームを通じ
全国各地でVPP発電所が稼働中

再エネをつくるから使うまで。
不安定な太陽エネルギーを、
ビッグデータとAI予測で最適化



脱炭素社会の未来をデザインする 「アイ・グリッド・ラボ」

アイ・グリッド・ラボは、少し先の社会をデザインし、新たなビジネスの種を生み出すソーシャルビジネスラボです。
多様なプロフェッショナルとの共創によって、未来社会を構想し、その実装に向けたビジネスデザインや技術開発・
実証を繰り返しながら、エネルギーや未来のライフスタイルの可能性を探索しています。

i GRID LAB

COLLABORATION



エネルギー
×
データサイエンス

エネルギーをはじめとするデータ活用
で、再エネの地域循環モデル構築に取り
組んでいます。



ライフスタイルデザイン
×
地域

自治体や地域企業と共に、地域脱炭素社
会における新たな暮らしの創造に取り組
んでいます。



ビジネス
×
アカデミー

大学・研究機関との共同研究やインター
ンシップを通して、次なる社会をデザイ
ンしていきます。

事業構想 「GX City®」

「GX City®」とは、再エネの地産地消を実現し、自然を壊さず地域の脱炭素化・レジリエンス強化・経済活性化、生活利便性・快適性の向上を、地域企業や自治体と一緒に目指す都市のあり方です

GX City

自然を壊さずに
再エネをつくる

地域循環で再エネ
自給率の高い街づくり

誰でもいつでも安心して
エネルギーを使える都市

エネルギーや産業構造の脱炭素型への転換によって新たな競争力を生み、成長へと繋げていくGX(グリーントランスフォーメーション)が求められています。

GX Cityが実現することで、地域の魅力を向上させ、人も経済も活性化していく、それがこの事業構想の目指すところです。

「GX City®」実現ステップ

日本各地のGXを推進するプラットフォームとしてGX Cityの実現を目指していきます

①

自然を壊さない
オンサイトソーラーの導入拡大



屋根上に加えてカーポート型ソーラーも活用し、新たな土地開発を必要としないオンサイトソーラーの導入を拡大します。さらに、ペロブスカイト太陽電池を取り入れた工法の開発によって導入量の増加を目指すほか、蓄電池、商用EVの導入も推進していきます。

②

地域アライアンスの拡大で
分散型電源の導入を加速



オンサイトPPA事業、GXテクノロジーに、地方自治体や地銀とのアライアンスによる持続的なファイナンスを組み合わせ、地域への分散型電源の導入によるエネルギー地産地消サイクルの構築を加速させます。

③

EVシフト対応と大型蓄電池導入
の両輪で太陽光を最大活用



蓄電池の導入を推進することで、太陽光の活用を最大化します。大型蓄電池の導入に加え、太陽光発電システムとV2Hを組み合わせ、普及が進むEVを蓄電池として活用していくことで、社会コストを抑制した形で再エネ普及を後押しします。

④

需給バランス調整で分散型再エネを
地域全体で余さず活用



「R.E.A.L. New Energy Platform®」で、地域内の需給バランスを調整します。余剰電力の地域循環、EVの充電マネジメントをはじめ、発電量が不安定な太陽光を余さず活用することで、地域の再エネ自給率を最大化し、「GX City」の実現を加速させていきます。

受賞歴など

自然を壊さずに再エネを広げる取り組みが評価され、様々な賞や評価をいただいています

2021年

[環境省 グッドライフアワード]

環境大臣賞 最優秀賞 受賞



【受賞の理由】

自立分散型の太陽光による再生可能エネルギーにテクノロジーを活用し国内に広く展開している
施設の屋根を有効活用し、災害にも強く、効率よく自然の負荷がかからずに地域と自然が守られるという循環をすでに事業として体現している

2022年

[環境省 気候変動アクション]

環境大臣賞 表彰



【受賞の理由】

分散型太陽光発電システムによる「再生可能エネルギーの余剰循環モデル」が、気候変動の緩和に対する継続的な取り組みとして評価され、先進導入・積極実践部門で受賞

2023年

[環境省 グッドライフアワード]

新エネルギー財団会長賞 受賞



【受賞の理由】

分散型太陽光発電システムによる「再生可能エネルギーの余剰循環モデル」が、分散型新エネルギーの先進的な取り組みとして評価され、分散型新エネルギー先進モデル部門で受賞

2023年

[日本企業として初めて]

GX Unicorn 選出



NIKKEI GXが、脱団祖分野で急成長する世界の有力スタートアップとしてリスト化した「GX Unicorn」に、日本企業として初めて選出された。
(旧 VPP Japan)
融資を含めた累計調達額が238億円に上ったことなどが要因で、新たにリストに加わっています

その他
受賞歴

第8回日本環境経営大賞(環境価値創造部門)「環境価値創造賞」受賞 / 第6回エコプロダクツ大賞(エコサービス部門)「審査委員長特別賞」受賞 / 第3回ニッポン新事業創出大賞(アントレプレナー部門)「最優秀賞」受賞 / アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー【EOY】(スタートアップ部門) ファイナリスト受賞 / Eco japan cup 2007【ビジネス部門】「敢闘賞」受賞 / 2020 年度省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」受賞 / 2021年度 第三四半期 Mizuho Innovation Award 受賞 / 「第10回プラチナ大賞」優秀賞 GX社会賞を受賞

アイ・グリッドでは、自治体・企業・地域社会のみなさまと一緒に、持続可能な社会を共創したいと考えています

Business

自然を傷つけない・壊さない事業



アイ・グリッドでは2017年から商業施設の屋根を活用した分散型太陽光発電事業を開始。それから今日まで、木を1本も切ることなく、再エネ自給率最大化を実現しています。また、地域の脱炭素を推進するアライアンスにより、エネルギーの「地産地消」を叶えています。

Collaboration

GX・脱炭素を共創する取り組み



日本を代表する講師陣と高度環境人材を育成する「環生塾」の立ち上げ、共に社会システムの変革へ挑戦する機関への加盟や賛同、エネルギーの未来について研究し発信するオウンドメディア「グリラボ」の運営など、社会と共創しGXを推進する活動を多数行っています。

Well-being

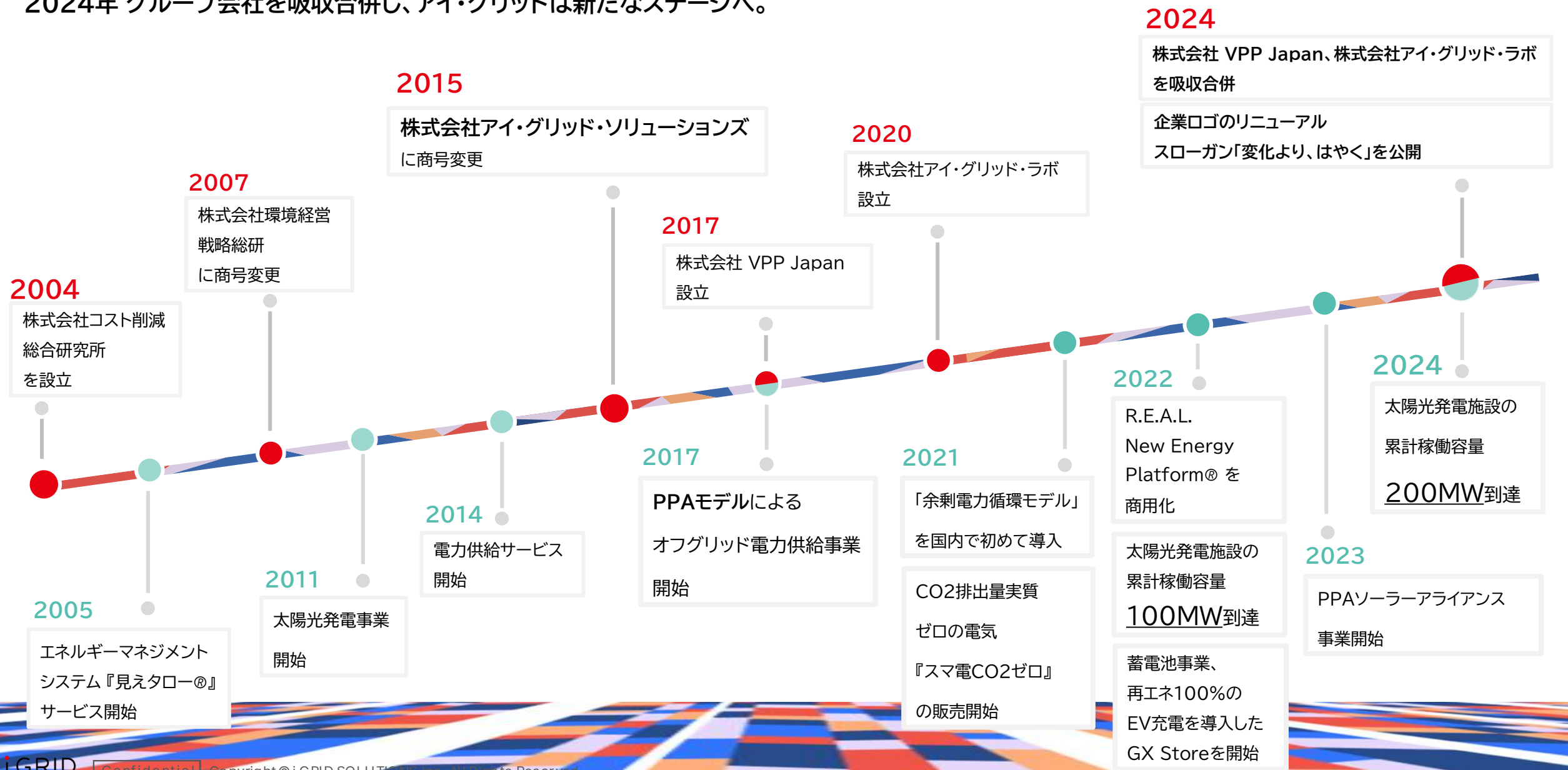
わたしたち自身の可能性を最大化



エネルギーシステムのサステナビリティを目指している私たちは、「持続可能な企業活動／社員の働き方」を追求し、活力がめぐる組織につながる「学び」「多様性」を軸としたウェルビーイング経営を目指しています。それが、アイ・グリッドのウェルビーイング「i being -アイ・ビーイング-」です。

沿革

2024年 グループ会社を吸収合併し、アイ・グリッドは新たなステージへ。



02. 事業のご紹介



企業や自治体の再エネ自給率を最大化するGXソリューション事業、余剰再エネを循環／供給するエナジートレーディング事業を営んでいます

GX ソリューション 事業

統合的なGXソリューションの提供により、地域や企業の脱炭素化を加速させ、その先にある新しい成長を支援します。

クライアントソリューション

PPA/TPOサービス

最大限に再エネを発電させる「余剰電力循環スキーム」で、再生可能エネルギー比率アップと電力コスト削減を実現

インテグレーションサービス

災害時にも強い次世代型施設「GX Store®」や「GX Logistics®」の構築などをサポート

その他

EV充電システム導入など

アライアンスソリューション

地方自治体・金融機関・地域企業など、提携パートナーとのアライアンスによって、各地域の脱炭素化を推進

エナジー トレーディング 事業

CO2ゼロ電力を供給することで、電力供給サービスを通じて環境に優しいエネルギーをめぐることに貢献します。

家庭向け

スマ電CO2ゼロ

再エネの活用と、売り上げの一部を投資して太陽光発電所の新設を行う、電気を導入するだけで、脱炭素エネルギーの普及につながるプランを提供

法人向け

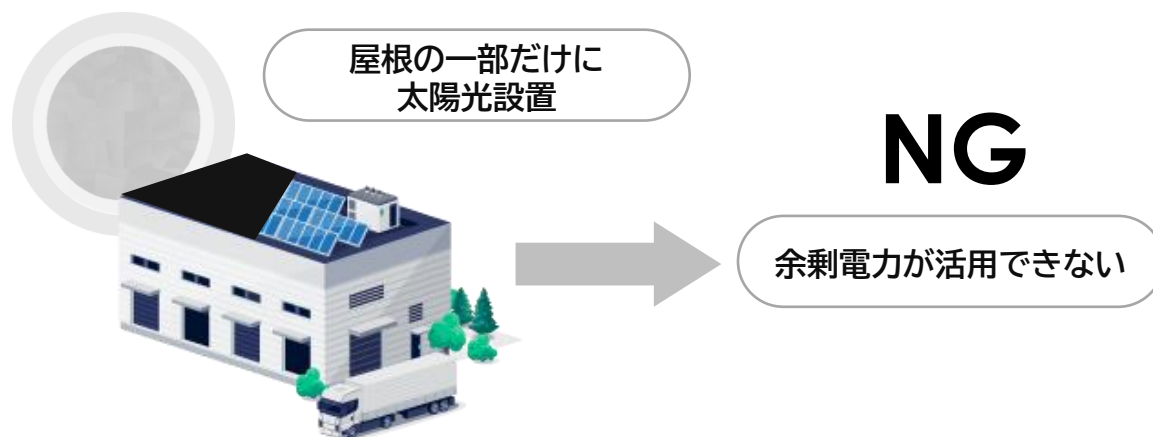
CO2ゼロの法人向け電力プランを提供

余剰電力循環スキーム 再エネ自給率を最大化する余剰電力循環スキーム

GXソリューション事業、エナジートレーディング事業、プラットフォームの3つを活用し、余剰電力循環スキームを実現しています

一般的なスキーム

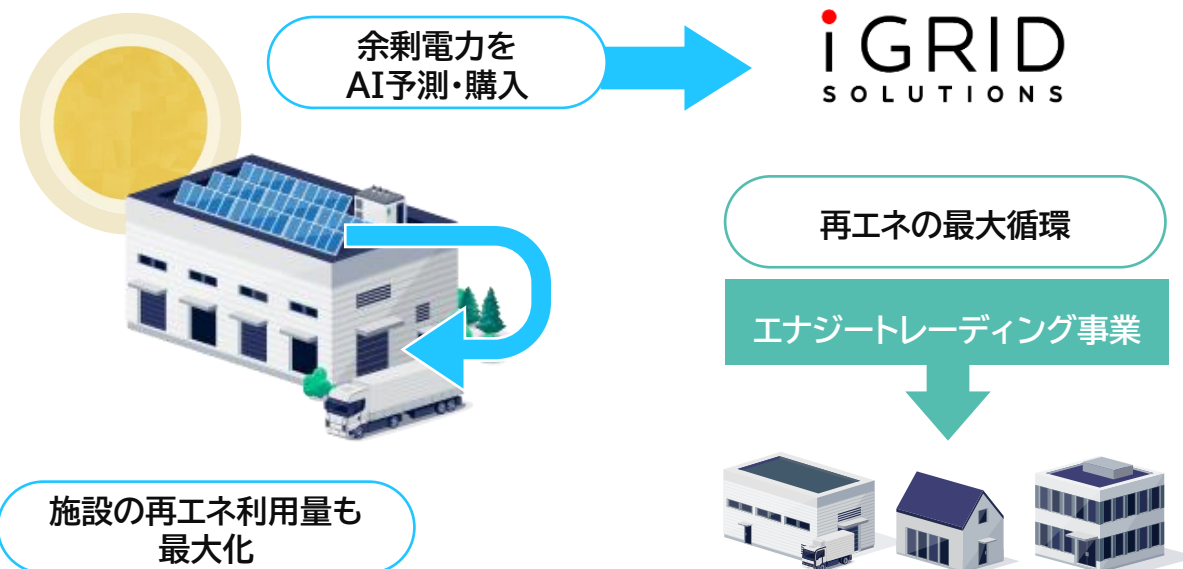
一般的なスキームでは、コントロールが難しい余剰電力を出さないように太陽光を設置。本来の発電ポテンシャルを活かせず、再エネが循環していきません。



余剰電力循環スキーム

施設で使いきれない余剰電力量をAI予測し、アイ・グリッドが購入。他需要家へ電力供給します。これにより、屋根ポテンシャルを最大活用したソーラー設置と再エネの最大循環の双方が可能になります。

GXソリューション事業



GXソリューション -クライアントソリューション

“再エネ自給率の最大化”を目的に、計画・実行・管理まで統合的に支援し、グリーントランスフォーメーションを加速させます

GXソリューション



計画策定

カーボンニュートラル目標からバックキャストした再エネ導入計画を策定



導入実行

ルーフトップ/カーポート太陽光、蓄電池、EVチャージャーで再エネを最大発電・最大活用



実績管理

不安定な再エネをAI・IoTでデジタル管理

Benefit

CO2削減目標の達成

長期の電力コスト安定化

ブランドイメージの獲得

GXの先にある成長

ルーフトップ/カーポート太陽光、蓄電池、EVチャージャーを備えた新時代の店舗構想を、流通小売企業様向けに提案しています

新時代の店舗構想

GX Store

- ✓ 再エネ先進企業への転換
- ✓ BCPの強靱化
- ✓ 新時代・新生活のリーダーへ

GX Store動画はこちら
(全画面表示で画像クリック)



Movie

約 4 分でわかる

GX Store®

GXソリューション - アライアンスソリューション実績

地方自治体・金融機関・地域企業など、提携パートナーとのアライアンスによって、各地域の脱炭素化を推進します

アライアンスパートナー

金融機関



事業者



許可を頂戴した一部のお客さまのロゴを掲載
させていただいております（順不同）

連携
イメージ



参考：PPAとは

PPA(Power Purchase Agreement:電力販売契約)とは、経済的に再エネ調達ができる脱炭素に不可欠な電力供給サービスです

Point



初期投資・
維持管理ゼロ



脱炭素・
再エネ調達



電力コスト削減
・安定化



停電時の補助電源
・BCP対策

アイ・グリッドがお客さまの建物屋根に太陽光発電設備を設置。発電した電気はその施設へ直接供給・消費し、お客さまから電力使用量をお支払いいただく仕組みです。

i GRID
SOLUTIONS

設置・運用・保守

貴社施設で利用

PPA
(電力購入契約)

i GRID
SOLUTIONS

PPA事業者

電力利用料
支払い

貴社施設 (設置・需要場所)

不足分は
系統電力から供給

現在ご契約の電力会社





変化より、はやく

はじまりは一つの想いでした。
いつもがむしゃらに動き回っていたら
自由な発想、多様性を認め合う仲間が
少しずつ集まってきました。

人とのつながり、地域とのつながり、
そして社会とのつながりを大切にしながら、
私たちは成長してきました。

目まぐるしく変わるこの世界の中で
だれよりもしなやかに、自由に。

脱炭素というテーマをこえて
ワクワクする未来を描き
人へ、街へ、そして社会へ
多彩な驚きを届けてゆきます。